

第18回 青年土地家屋調査士会 全国大会IN東京

『再出発』

コロナを乗り越えた土地家屋調査士の現在地そしてこれから、、

日時：令和6年2月24日（土）

場所：新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー5F
／ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター

エクスカーション 『近代測量最古の三角点にふれてみよう』

日時：1日目-令和6年2月24日（土）午前 2日目-令和6年2月25日（日）午前及び午後

場所：1日目-江戸城桔梗門前（予定） 2日目-墨田区内の研修室（予定）

※詳細につきましては後日お知らせ致します。



参加申込はこちらから→



『第18回全国青年土地家屋調査士大会 in TOKYO』

実行委員会ご挨拶

令和3年8月28日、コロナ禍真っ只中において広島オンライン全国大会が開催されました。広島の間仲間たちが紆余曲折、苦勞の末に開催してくれた初のオンライン形式の全国大会でしたが、そこで初めて『集う』ということの意味、大切さを実感した大会でもありました。

『安心して集えるようになるまで無期限の延期』。そう締めくり、毎年続いていた青年土地家屋調査士全国大会は第17回をもっていったんの区切りを迎えました。

そして今、『再出発』というテーマを掲げて東京からはじめます。リアルに集い参加している実感を味わってもらいたい。講師を招き壇上から一方的に講義を聞くのではなく、その時間をも使って参加者同士がコミュニケーションできる企画はできないか。そして大会後には「たくさんしゃべったなあ」「次は我が地元で全国大会を！」と思ってもらえる大会を目指して準備しました。東京青調会一同、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

第18回全国青年土地家屋調査士会全国大会 in TOKYO 実行委員会 委員長 渡邊輝夫
富所勇太
東京青調会 代表 平 星児

大会概要

いま若手土地家屋調査士たちが聞きたい話したい旬な話題を厳選し、全国から選抜した会員によるパネルディスカッション&討論を行います。参加者たちがスマホから意見を投稿してリアルタイムで会場の大画面で映し出されるシステムや、オンラインでの参加システムも予定しております。

参加費(懇親会費含む):15000 円 (税込) + 決済システム利用料 330 円

エクスカーション概要

明治5年に東京の13ヶ所に三角点が設置され(これらが近代測量最古の三角点である。)三角測量が行われた。その時の資料はないが、明治8年に完了した同三角点を使用したものと思われる東京三角網素図が存在する。これらの資料をたよりに、実際に富士見櫓を観測し座標値を求め、愛宕山～富士見櫓を基線とした日本最古の三角点の発見に近づいてみる。

参加費:無料(当日、会場使用料を参加人数割りでご負担いただきます。)

本大会会場：ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター
新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー5F

協賛企業

- ・株式会社測器サービス
- ・日本加除出版株式会社
- ・福井コンピュータホールディングス(株)
- ・トリンプルパートナーズ関東株式会社
- ・株式会社マイゾックス
- ・株式会社ビービーシー
- ・株式会社ワーカホリック
- ・法令書式センター

※令和5年9月30日現在

